

## タウンミーティング 会議録

日 時：平成19年11月22日（木） 19:00～20:50

場 所：黒部市民会館（三日市）

- テーマ：1．北陸新幹線新駅周辺の整備推進について  
2．新市庁舎の建設について  
3．子育て・教育環境の充実について  
4．消防・防災体制の充実について

参加者：132人

### 【事務局】

ご苦労さまです。ご案内の時刻になりましたので、ただいまから平成19年度黒部市タウンミーティングを開催させていただきます。本日が初日ということでございますが、今年も昨年同様に市内4つの中学校校下ごとに開催する予定にしております。

今回のテーマは、北陸新幹線新駅周辺の整備推進について、新市庁舎の建設について、子育て・教育環境の充実について、消防・防災体制の充実について、以上4つのテーマで開催する予定にしております。

最初に、市長からこのテーマについてご説明申し上げます。市長の説明は約20分くらい要するものと考えております。その後、意見交換に移り、最初に、事前に発言の申し込みのあった方、そして、その次に、本日までご参加いただきました会場の皆様からご意見をお受けすることにいたしております。終了予定時刻は8時30分ごろをめぐりに進めさせていただきたいというふうに考えておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

なお、本日のタウンミーティングにつきましては、受付のほうで黄色のアンケート用紙をお配りいたしました。本日発言されない市民の皆様からも、日ごろから感じておられることを自由にご記入いただければというふうに思います。お寄せいただいた意見につきましては、今後、市政運営の参考にさせていただく予定にしております。

それでは、堀内市長からごあいさつとテーマに関して基本的な考え方をご説明申し上げます。

市長、よろしく願いいたします。

### 【市長】

**詳細については、「市長あいさつ及び課題提起」をご覧ください。**

### 【事務局】

どうもありがとうございました。

市長、中央の席へお移り願います。

それでは、ただいまから会場の皆様からのご意見をお受けいたします。係の者がマイクをお渡ししますので、地区名、お名前に続き、ご意見を述べていただきたいと思います。

もう1つお願いがあります。このタウンミーティングではできるだけたくさんの方からご意見をちょうだいしたいと考えております。発言はなるべく簡潔に、お一人3分をめぐりにお願いいたします。

それでは、質問に移らせていただきます。

まず最初に、事前に発言を申し込まれた方が3名おられます。そのお三方からお願いしたいと思います

が、偶然にもそのお三方が新庁舎の建設についてということで同じテーマでの発言でございますので、順次お三方に発言をいただくこととし、市長からの回答はまとめて申し上げることとしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、まず最初に、三日市のA様、おられますか。よろしくお願いいたします。

#### 【Aさん】

こんばんは。三日市地区のAと申します。寒い中、皆さん、ご苦労さまです。

今日、私は、新市庁舎の建設についてお話しして、お伺いしたいと思います。よろしくお願います。

見る限り老朽化されて、歴史的建造物と見れる市庁舎です。現在は、三日市地区の奥狭まった場所に位置されています。私は、東三日市に住んでいるため、容易に足を運ぶことができ大変便利に思っております。しかし、ほかの地区から庁舎に来られると結構大変かなと思われます。それは、車社会である今、駐車スペースが狭く、通りから入るときの道の狭さは危険を大きくしているものと思われます。

そこで、市庁舎はどこか十分な広さが確保され、財政的に負担の少ないところに行けばいいものかとも考えたりしたのですが、総合的なインフラ、市有地などを見たときに、これは出る必要もないのかなとも思ったりもしました。自分は三日市の人間で三日市びいきをするわけではないのですが、人が集まりやすいまちづくりを考えて、市庁舎はコンパクトで意味合いのある空間づくりである起爆剤かとも思います。

また、商店街では1年中イベントをいろいろやりながら集客を試みっていますが、商店街の衰退化も残念ながら進んでいます。何とかしなければならぬとも思いますが、できません。今ほど市長さんからいろいろ説明があって、ダブるような説明が出てくるとは思うんですが、何とぞまたご意見を聞かせていただきたいと思います。よろしくお願います。

#### 【事務局】

どうもありがとうございました。

続いて、荻生のBさん、おられますか。よろしくお願いいたします。

#### 【Bさん】

荻生地区のBです。

新庁舎の建設の件でしばらくご意見を言わせてください。よろしくお願います。

新庁舎の建設問題につきましては、これは新幹線新駅周辺整備事業とともに私どもにとっても最も関心の高いテーマかと思っております。既に幾つかの候補地が市民の間で話題になっているようですけれども、設置場所だけが先走りしては我田引水となり、後々市民感情の障害になるかもしれませんので、私はまず、新庁舎の建設は少なくとも10年から20年先を見越した中長期的な視点に立った意見を出すべきじゃなからうかというふうに思っております。新庁舎に何を求めるのか、また、そのためにはどういった市にしなければならぬのか、こういったものはやはり中長期的な判断でなければならぬと思っております。インターネット、ケーブルテレビ、あるいはまた、光ファイバー等を運用しました総合情報通信システムというものが非常に今進歩しています。私どもの生活もおそらくこの後どのように変化するかはちょっと想像もできないんですけれども、このような情報通信社会であって、果たして市庁舎というものは今のような現況の考え方の延長線であっていいのかなと、そういう素朴な疑問も感じております。これからの行政改革の中でどの部分が民営化できるのか、あるいはどういう部分が民間委託が必要かということも十分に考えて組織のスリム化を図るべきではないかと思っております。このようなことを、いわゆる庁舎の内側の

なものをまず最初に早急にまとめた上で、次の段階として設置場所をどこにするかという問題に取り組むべきかと思っております。

私は、庁舎の立地条件としましては4つぐらい考えております。

1つは、先ほどの人がおっしゃったように、これからの黒部市の発展の核と考えているのであれば、やはり新駅の近くにあったほうがいいのではないかと。

2つ目には、私ども市民はもちろん、県外あるいは市外の関係者が新庁舎の利便性をアピールしたいというのであれば、やはり公共交通網の拠点に設けるべきでないかと。

3番目には、地震あるいは洪水といった自然災害に対して、やはり安全な場所を選ばなくてはならないというふうに思っております。

それから、4番目には、建設予定地の買収の難易度を考えております。そしてまた、それにどれだけの財政が組み込めるのか、そういったこともお考えの上で駐車場とか広い敷地が確保できる場所を選ぶべきではなからうかというふうにも思います。このような立地条件に対して評価点数を付与しておいて、それを統括していけば、おのずから公平な設置場所が見えてくるのではないかと思います。そうすることによって、市民に対しても説得力のある説明が可能になるのではないのでしょうか。

とにかく、これからの市庁舎に何を求めるかということにつきましては、広く市民の皆さんの知恵を引き出しながら、将来の構想に立った市庁舎の建設計画に取り組んでいていただきたいというふうに思っております。よろしくお願いたします。

#### 【事務局】

どうもありがとうございました。

それでは、最後に、前沢のCさん、おられますか。よろしくお願いたします。

#### 【Cさん】

皆さん、こんばんは。前沢地区のCです。新市庁舎の建設について提案がありますので、よろしくお願いたします。

宮野山台地から見る新黒部市、遠くは能登半島、富山湾を一望に見ることができる宮野地区を推薦するものであります。

春は桜、夏は自然界にはゲンジボタル、秋は紅葉と日本百選に入る夕日を見ることができ、冬はスキーやソリなどを楽しむことができるすばらしい大地に新黒部市の象徴となる新庁舎が建つことになれば、富山県内ではまれに見る高台に位置する場所であり、また、庁舎の屋上に上がれば日本でも数少ない新幹線と高速道路が一直線に並行して並んで見ることができる唯一の場所ではなからうかと思っております。

庁舎といたしましてなぜ推薦したかといいますと、まず1、推薦する場所は、宮野公園内の第2駐車場と、現在、西松建設が使用中の土地に新庁舎を建設する。

2、現在ある第1駐車場だけで不足の場合には南側の用地を駐車場に利用することとし、土地柄所有者の理解も得やすく、他の候補地から見ると土地の値段が格段に安いと思われれます。

3、新黒部市市庁舎に来られるお客様用の駐車場についてですけれども、月曜から金曜日までの市庁舎の利用のお客様用に使用していただき、土曜日、日曜日、また祭日は一般の人たちに駐車場を開放することで、1年365日フルに活用できるものと思われれます。

4、新市庁舎が建つことで宮野公園内の下水道も整備され、栗寺、吉城寺、宮野地区の下水道も同時に整備されるものと思われれます。5、県内はもとより他県からも春分の日から秋分の日まで公園内の仏舎利

塔、墓地公園にはたくさんの方が訪れます。また、宮野地区からは新川牧場に近く、県外からもたくさんの方が観光に訪れておられます。

6、宮野公園内にある運動公園、陸上競技場、黒部市民体育大会など、また、野球場、全国高校選手権予選など、その他テニスコート、ソフトボール場などがあります。

7、また、ふれあいハウス、宮野ハイツなどの宿泊施設もここにありますので、大変すばらしいところじゃなかろうかと思っておりますので、ぜひ、建設されることを望んでおります。

どうもありがとうございました。

#### 【事務局】

どうもありがとうございました。

今ほど3人の方からそれぞれご意見をちょうだいしたわけでございますけれども、市長からご答弁のほうをよろしく願います。

#### 【市長】

今ほどお三方から新庁舎の建設の場所についてそれぞれ提言をいただきました。事前にご意見のある方を募集しましたら、この会場では三方とも庁舎の問題についてということで、そういう意味では、ほんとうに関心が高いなという気がします。

先ほども言いましたように、新しい黒部市の総合振興計画の基本構想の重点プロジェクトの中で庁舎建設が位置づけられ、総合振興計画の計画期間は10年ですから、これからの10年間で建設しようということが決定したわけです。ですから、今、それぞれ意見を言われました。ほかにもおそらくここがいいだろう、ここがいいという意見があると思います。大事なことは、それらの意見をまとめる。最後は1カ所、4カ所ともに市庁舎をつくるということはできませんので、いろいろこれから時間をかけて議論します。市民の皆さん方からも多くの意見、自由に意見は言っていただこうと思っておりますが、必ずまとめなければならない。けんか別れしてどこも決まらなかったということは絶対にやっちゃいけない。なぜなら、この庁舎の建設につきましてはこれからの10年で建設しなければ、その後はなかなかできません。

先ほどから財政の話もあります。今、この庁舎をはじめ、いろんな事業、新幹線関連事業とか、基本構想の中で実は53の重点プロジェクトがあります。それらをまた見ていただきたいのですが、多くのプロジェクトがある中で、いろんな国とか県の補助があります。そういう有利なものを利用しながら実現していきたいと思いますが、庁舎については国や県の補助金をいただくということはありません。できません。だとすれば、庁舎がどれぐらいかかるかというのは、この後のいろんな議論、規模とか内容について決めなければ予算も立ちませんが、おおよそのイメージはあります。だとすれば、これまで庁舎基金として、ご承知のように約15億円黒部市は積んできました。そして、それに足りない部分というのは、国とか県の補助がなければ、私は、合併特例債というものを利用することが一番有利ではないか、また、それが利用できる間にやらなければなかなか庁舎というのは実現できないだろうというふうに思っておりますので、ぜひこの10年間で皆さん方の意見をまとめて、どこか1カ所、ぜひ実現をしたいと思っております。

今、庁舎につきましてはいろんな考え方ができると思います。先ほど私は、市民が集うまちづくりのシンボルとしての庁舎の位置づけ、あるいは事務を行う、そういう事務所的な機能、あるいはそれ以外の、英語で言えばシティーホールなのか、シティープラザなのか、市庁舎の事務的な機能プラスどういう機能を付加するのかわからないのか、あるいは防災拠点としてどういう施設が必要なのか、そういうものをしっかりと議論して決めていかなければならないと思います。そういう中で、位置と規模、機能、内容というも

のが自然と決まってくる。

9月定例議会において基本構想が決定しました。それに基づいて、実は11月の5日過ぎに庁内に新庁舎建設研究会というものを設けました。副市長をトップにして、各部長が委員として参加して、どういうことを整備して、また、今後どういう決め方、進め方をするのかということは今、庁舎内で研究しております。そして、来年度、それらの進め方あるいはいろんな視点の研究をきちっと確認して、市民の皆さんの代表による庁舎建設の検討会を設けたいというふうに考えております。そこで市民の皆さんからそれぞれいろんな意見を言っていて、最初に言いましたようにまとめなければならない、ここが大事です。最後まで対立してはいけません。いろんな意見は言っていていいのですが、まとめるということが非常に重要であるし、大変難しいと思いますが、このチャンスをしっかりと生かしていかなければならないと私は思っております。

発言者の皆さんそれぞれの答えにはなっておりませんが、やはりこの10年間でやろうということは決定していただきましたが、その内容についてはこれから皆さん方と議論をし、そして、決めるプロセスがやっぱり大事だと思いますので、是非いろんな意見を言っていて、最後はまとめていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

#### 【事務局】

お三方、よろしいでしょうか。

どうもありがとうございました。

それでは、事前にご発言の申し入れがあった方からは以上でございます。

続きまして、本日お集まりの会場の皆様からご発言を受けたいと思います。地区名、お名前に続き、先ほども申し上げましたが、お一人3分以内ということで意見を述べていただきたいと思っております。発言を希望される方は挙手をお願いいたします。

いらっしゃいませんか。では、後ろの男性の方、先にお願いたします。

#### 【Dさん】

大布施沓掛地区のDといいます。よろしくお願いたします。

2点、改善提案ですけれども、前々から事あるごとに関係する方には言っているんですけども、中央小学校のグラウンドの夜間照明の改善をお願いしたいんです。現在、野球をやる側、南側のほうは確か4基照明があったと思うんですけども、スポーツ少年団で実際にサッカー、中央サッカーは大体60弱のメンバーがおるんですけども、そもそも照明をつける時間までやる必要があるのかという考えもあるんですけども、現実的にやっぱり春と秋、暗い中、北側のグラウンドのほうで、中央サッカーのグラウンドの北側のほうには夜間照明がないので、海側1本、山側1本と電柱を立てて増設して、少なくともボールをけるときぐらいは安全に快くボールをけるような状態でサッカーをするぐらいのことが、児童の安全を守るという意味でも、簡易的な照明だったらあまりにも貧弱で、実際、照明として目的を果たせられないということらしいので、ここはどうかやっぱり、あと、海側、山側1本ずつ電柱を立てて、サッカーボールがはっきり見える中で、夕方の暗いときにボールを追えるというぐらいのことは当然児童の安全を考えても、夜間照明の増設をお願いしたいということと、それがまず1点、改善提案で、もう1つ、本日も桜井中学校で催しがあって夜行ってきたんですけども、みんな万人が知っているとおりに、はっきり言ったらボロいんで、大規模な部分はああだこうだ言っても、議会とかもろもろあってお金をもらえてできるわけなんですけれども、今日、自分のいた部屋が図書室、図書室の照明があまりにも暗いし一部はかば

か状態になっていて、終わった後でちょっと取りかえてみたんですけども、取りかえたからってだめやったので、照明そのものがいかれポンチになっておるみたいで、せめて本を読む図書室の照明ぐらいは明るくして、やっぱりそういったちょっとした改善ができるぐらいのことは、図書室の照明ぐらいは思い切って新しいものに取りかえるとかしたほうが、やっぱり児童生徒の安全とか教育関係の整備で、お金をあまりかけずにやれるようなことからやるべきだと思います。

何か話を言うと、なかなか下々から話が上がりとなかなか動かんというのは、いまだに官尊民卑というか、もっとやれることは素直にやるべきだと思うので、いろいろ背景では制約とかお金とかもろもろあるのはわかるんですけども、やっぱり教育環境とかを少なくとも真っ先に、安全とか環境整備は下々から声が上がらなくても行政側としては改善すべきじゃないかなと、差し当たって、中央小学校のグラウンドの照明と桜井中学校の図書室の照明の取りかえ、この2点、改善提案をお願いいたします。

以上です。

#### 【市長】

ありがとうございました。

中央小学校の照明のお話とか桜井中学校の図書室の照明の話などそれぞれについては、教育委員会のほうに話をしておきますので、できるだけ早く、大きなことはすぐにはやれませんが、言われるように、やれる小さなことは早くやっていきたいというふうに思います。また、教育関係の充実ということは大変重要だというふうに思いますので、この場でいつどうするということについてはすぐお答えはできませんが、小さなことはできるだけ早くやるようには指示をしておきます。

そこで、もう1点、桜井中学校の改築の話が出ましたので簡単にお話ししますと、今、教育委員会のほうで学校教育基本計画というものを策定中であります。12月の市議会には中間報告をし、3月までには確定したいと。この学校教育基本計画というものは、今後10年から20年、学校関係については10年ではなかなか計画をすべて実現するのは難しいものですから、20年ぐらいまでのスパンを見据えた計画を今策定しています。3月までには終わります。そこには、さっきも言いました小学校11校、中学校4校の統合から校区の見直し、そういうものも含まれております。その中で、桜井中学校が50年を経過した校舎だということも十分理解しておりますので、このままいつまでもそのままにほうっておくということではできません。ですから、いつごろどうするかということまで今の学校教育基本計画の中で計画が策定される予定でありますので、今お金がないからとか、財政が非常に厳しいから、例えば市債残高がこれだけあるとかということももちろん改善しなければならぬのですが、あわせてやらなくてはいけないことはきちっとやるということも大事でありますので、いつまでも放っておくことはしない。今の基本計画の中で桜井中学校のこともしっかりとした位置づけをしていきたいというふうに思っております。

#### 【事務局】

それでは、前の女性の方、よろしく願いいたします。

#### 【Eさん】

三日市地区のEと申します。

今ほどお話があった方と一緒に意見です。今日のテーマに沿いますと、3番、4番で1つずつ要望をしたいなと思ってここへ駆けつけて参りました。

ダブリますが、教育環境の充実についてということで、今、市長さんから具体的に心強いお返事をとい

いでしょうか、回答をいただきましたので、非常に期待しております。と申しますのも、話は重なりますが、11月20日に桜井中学校の評議委員会に行って、最初に校舎全部隅から隅まで回ることができました。ぜひ見てほしいという要望もあったんですが、こんなにも老朽化が進んでいるのかと。これじゃ、安全やわ、安心やわと、どれだけ防災教育で避難訓練しても、避難しながら何かの事故に遭うんじゃないかと思うほど、建設当時は立派な財政面から見てもいたし方がないくらい立派な校舎だったかとは思いますが、これだけ時間がたってみますと、もうちょっと何とかならないか、しかも、早急にと私はいらんで帰ってまいりました。コンテナ室、給食配ぜん室の天井なんかを見られますとびっくりされると思います。生徒がいないときに覆っていたものが落ちてきたので、もし生徒たちがいたら惨事になるところだったという説明も受けております。

その次、4番目、消防・防災体制の充実についてというので、実は私、公民館にかかわっていますもので、黒部市のほうからくらしのガイドというものが出ておりますね。この中に三日市公民館が避難場所になっております。53ページかどこかに書いてございました。看板は出ておりません。でも、今や隣の新潟県、隣の石川県等々でこういう災害が起きますと、いつまでも神話は通じないと思うんです。そこで、この避難場所に小学校さんも大分指定されておりますが、せんだって小学校の校長さんと話をしておりました。一体全体万が一のときに地域の住民の方を受けとめたときにどういう組織がどう働いて、具体的に公民館を預かっている者としたらどう動けばよいのか、そういうマニュアル、市の方との連携をとりながら具体的なものが欲しいんです。ただ、避難場所ですよ、そこに何やらが置いてありますよというだけだったらきっと慌てると思うんです。安心して避難して来られた方々にどう対応していくか、具体的なものというのはやっぱりこれは一公民館だけではできない問題ではありませぬので、それに関するマニュアルをつくっていただきたいなと慌てないために予防としてでございます。

以上です。

#### 【市長】

ありがとうございました。

まず初めに、桜井中学校のことについては私も見てまいっておりますし、十分わかっております。先ほど言いましたように、学校教育基本計画の中でその改築については位置づけをし、また実現をしていきたいというふうに思っております。

次に、先ほども言いましたが、自治防災組織が黒部市内全地域にできました。今年初めて総合防災訓練というものを荻生地区で実施したわけでありまして。ぜひ毎年実施して各地区を回りたいと思いますが、まず、地域のリーダー的な方に担当していただいて、いろんな知識とか、いろんなそういう体験を通じて、防災にかかわるリーダーをまず育てていきたいというふうに思っております。そしてまた、それらの方がしっかりとした行動をとれるように、言われるように、やはり防災計画にのっとったマニュアルづくりというものも大事だというふうに思いますので、ようやくそういうようなことが実施できるような体制になってきたのではないかとこのように思いますので、Eさんが言われるように、そういうようなマニュアルをつくり、そしてまた、各地区の自主防災組織、また、避難場所も皆さん方にそういうものをお示しし、理解をしていただきたいというふうに思いますので、大変重要なご意見かと思っておりますので、すぐに準備を行いたいというふうに思います。

#### 【事務局】

それでは、ほかの方、おられましたら、挙手をお願いいたします。

後ろのほうの男性の方、お願いします。

【Fさん】

荻生地区のFといいます。

学校の地区というか、学校区の割り当てというか、通学地域の見直しということを言われておりましたが、通学地域の見直しだけでは都合の悪いことが起きております。三日市というか上野という地区がありまして、8号線の荻野石油のあるあたりなんです、そのところは大体三日市小学校に通っております。通い始めた子供たちが親になりまして、実際、その親の代までは荻生小学校を出て、三日市小学校に通わせたということになっているんですが、現在ですと、大体その親が三日市小学校に通っていたんだけど、荻生小だと。例えば、どういう問題が起きているかといいますと、小学校の運動会というか、校区の運動会をやるときに人間が足りないもんだから来てくれと。だけど、行ったこともない、見たこともない人たち、要するに親も来たこともない、行ったこともないという人たちが荻生小学校の地元というか、小学校区の単位で動けないと。こういう問題だけじゃなくてほかの問題もありまして、例えば、荻生の宮を直したんですが、そういう地区の人たちにちょっとお金をどうしようかという話をしたときに、いや、うちじゃなくてとなる。要は何が言いたいかといいますと、通学地域の見直しをしても根本的な問題にはならないと思うんです。学校を統合するということになると、地区の統合も含めないとこういう問題がずっと引きずるような、だから、地区の見直し、その線引きをその地区地区でやっていると、だんだん混乱した状態を広げていくと思うんです。今だから、例えば、もし統合とかなんとかということを考えられるならば、地区の統合、極端な話で、明日から三日市行けと言われれば、ええっと思うかもしれないけれども、合理的な地区のつながりというのは、現在の実際のつながりとはずれていることが起きているもんだから、それは8号線ができてからわかったけど、本来はこういう背骨道路ができたときにまたそういう問題が起きてくるんじゃないかと。だから、そういうことを含めて、今度はやっぱり新しい学校区を決めたときに、そういう地区の統合も、名前、名称、そういう意味の統合も必要なんじゃないかなと。そういうことを提案いたします。

【市長】

今ほど荻生のFさんに大変難しいお話をいただいたわけでありますが、各地区の自治振興会とか町内という単位というのは、大変歴史と伝統とか文化というものがそれぞれやっぱりあります。その町内とか自治振興会の単位の統合までを考えるとということになれば大変難しい話になる、これはなかなか難しいだろうなと思います。

私がさっき言ったのは、学校教育基本計画の中では、小学校あるいは中学校の統合、そして通学区域の見直し、それと各地区の行事とか、いろんな文化とか伝統芸能とかというものはなかなか一致させられないだろうなというふうに思います。

ご意見、いろんな行事をお世話する自治振興会の役員の方とか町内の役員の方の気持ちとすれば、やはり市民体育大会の選手を集めるとか、あるいはお宮のお世話をするとか、そういうことになれば、やはり1つの地区で小学校が分かれているという地区、荻生小学校では荻生と三日市の関係、あるいは中央小学校では三日市と大布施の関係があります。それら学校のことと地域のことを一緒に考える、学校教育基本計画の中ではそこまで考えた計画を立てておりません。子供たちの集団教育の効果とか、あるいは効率的な運営とか、そういうようなことを主に今その再編について考えているところでありますので、地域等の振興会とか町内会の統合までは我々は今現在のところは考えていませんので、ご意見としては承っておき



ますが、その点、ご理解をいただきたいと思います。

【事務局】

どうもありがとうございました。

それでは、次の方に移らせていただきます。どなたかご意見はありませんか。

【Gさん】

三日市のGです。

今度は簡単な提案というか、質問をしたいと思います。

先ほどから市庁舎の問題とかいろいろ出ておったんですが、ガイドラインを進め、そして、それに合った状況をつくり出していくといったようなことをしたわけです。背骨道路と言われる道路、そして建設されつつあるバイパス8号線、このバイパス8号線がどのような計画になっておるか、ちょっとお聞きしたいと思います。

というのは、魚津を越えると4車線計画ですか。片側2車線の工事を既にやっております。これは政治力か何かわかりませんか、黒部のほうは中途半端になっておると。いつごろそれが決まるのか、お聞きしたいというふうに思います。よろしくをお願いします。

【市長】

ありがとうございます。

魚津市のアピタのほうの道路につきましては、非常に朝夕に混雑しているということで、2車線から4車線について工事が行われておりまして、まもなく完成すると思います。

一方、今ほどお話があった魚津 黒部間がどうなっているかということでもあります。魚津 黒部間、現8号線の中でも大変渋滞をしているところでもあります。実は今日もここへ来る前、国交省の方々といろんな議論をさせていただいたところでもあります。なぜ進まなかったかということ、魚津市の江口で今の現8号とバイパスが合流している、そこから黒部市に入るところの地権者の同意を今年の6月ようやく得られました。これで魚津市地内の土地の問題については一応解決しました。ですから、本格的にこれから魚津 黒部間については工事が始まる予定であります。布施川、片貝川の橋梁、橋の下部工事が既に発注されておりまして、今、工事中であります。それで、黒部市はどうなっているか。黒部市は古御堂から布施川、魚津市の境まで約5キロほどあるんですが、ここについては順調に工事が進んでいると私たちは思っています。この魚津 黒部間といいますか、今の8号バイパスに年間32億円ほど予算化されておりまして、それを順調に消化しております。黒部市におきましては、今年の4月の段階で地権者、土地の取得については70%ほど終わっておりまして、今年度中には80%になります。そして、土地の取得が終わったところから埋蔵文化財の調査、黒部市内においても今年3億円ほどの埋蔵文化財の調査をしておりますが、その調査後、工事にかかるということでもあります。一番時間がかかるのは用地の取得であります。魚津市においてもそうでしたし、黒部市においても、今、限られた予算の中でありまして、用地の取得が終われば上の工事はそんなに時間がかからないだろうと思います。新幹線開業の平成26年までには魚津市江口から黒部市古御堂まで供用開始ができるものというふうに思っております。第1段階的には魚津市江口から市道南線、牧野のほうからJRをまたいで、北星ゴムさんのところの交差点、日鉦三日市リサイクルさんと北星ゴムさんのところの間の交差点、あそこまでを一時的に供用開始し、その後、そこから古御堂まで次の段階で供用開始すると。いずれにしましても、平成26年の新幹線開業までに間に合わせるというよ

うなお話も今日聞いて参りました。

ただ、1つ心配しているのは、せっかくでありますので一言だけ言っておきますが、油が大変上がってまいりました。大変皆さん方も心配しておられると思いますが、ガソリンが160円になった。そして、軽油も140円になった。実は、ガソリンとか軽油に含まれる税金、あるいは自動車重量税とか自動車取得税の暫定税率の話があります。今、揮発油税、ガソリン税というのは48円60銭なんですが、実は原則は24円30銭です。だから、端数は別にしまして、24円の揮発油税が今48円かかっておるんです。これを暫定税率と言っております。ところが、これは時限立法で期限が切られた法律です。それがこのままにしていくと来年の3月で切れます。揮発油税、軽油引取税、自動車重量税等は今ほとんど倍かかっています。それらを原資に、今、道路整備がなされています。国のほう、あるいは東京のほうでは真に必要な道路かどうかというような議論もありますが、もし暫定税率の継続がなければこれは完全にとまってしまう。そして、時限立法で、来年3月までの期限ですので、それはこのままの国会の状況だったら切れる可能性がある。野党では継続反対という意見もあると思いますし、政府のほうは継続したいということですが、反対意見も根強くあります。ですから、そういうものが継続されれば順調に進む、でなければ、今、道路特定財源というものが5.6兆円ほどありますが、約半分になりますから、今ここで我々が整備をお願いしている部分については完全にとまってしまうというような状況であります。いろんな考え方があると思いますが、私は暫定税率の検討についてはぜひ行っていただきたい。ただ、そのことによって、ガソリンだったら20数円、軽油だったら15、6円、高いものを買わなければならないんですが、それも我々とすればいたし方ないかなというふうに思っております。このことについては、新聞、テレビ等でこれから特に出てくると思います。ぜひ関心を持って聞いていただき、またご理解をいただきたいと思っております。

#### 【事務局】

どうもありがとうございました。

それでは、後ろの男性の方、よろしく願いいたします。

#### 【Hさん】

石田地区のHです。

子育て支援のことですが、各地区には保育所をつくって、また事業所というか、会社の工場というか、工場ごとにつくるようなことを市として支援化、そうすれば子供を連れて工場か何か行って、それでまた子供と帰ってくるという、そういう制度をつくってもらいたいのと、あと、学校の耐震化。やっぱり地震になると学校が一番の避難場所になるので、石田小学校は耐震化がやってあって、中央小学校も耐震化をやっている、そういうような耐震化のことと、消防署も耐震化していませんし、黒部消防署も。

そのことと、今のこととはちょっと関係ないかもしれんけど、新幹線で言えば、新駅の建設やそのほか周辺の整備とかにもいろいろと金もかかることで、また、財政難の折、県でも県知事が音頭を取って県庁職員の給与カットを言われているが、とても市長さんの前で言いにくいことですが、黒部市としても、市長をはじめ幹部の方、市職員、議員の方の給与カットということについて考えているんでしょうか。それだけ聞きたいと思って。お願いします。

#### 【市長】

まず、各事業所で保育所といいますか、託児所をつくってもらえないかということですが、今、黒部市には12カ所保育所がありますが、それぞれ保育内容については大変充実した保育をさせていただい

ていると思います。保育ニーズにつきましては大変増えています。延長保育、休日も保育する休日保育、あるいは一時保育、あるいは病後児保育、いろんな保育ニーズがありますから、それらにできるだけこたえられるように今努力をしております。市民病院には職員の子供を預かれる場所をつくっておりますが、民間の各事業所のところまではなかなか行政とすれば難しいだろうというふうに思います。その点、ご理解をいただきたいと思います。

また、学校の耐震化あるいは消防庁舎の耐震化については、先ほど言ったとおりであります。耐震化がなされていないところについては、耐震化するということがありますし、耐震化するよりも完全に老朽化していて手狭になったとか、設備に支障があるところ、消防庁舎については建て替えを計画しております。できれば前期の中で、前期というのは平成24年までに実現をしていきたいというふうに思っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

それから、財政的な問題から、市長をはじめ議員、職員の給料をカットしてはどうかということでもあります。私自身はカットしております。旧黒部市のときに職員の給料カットもしたわけでもあります。今は戻っております。そういう給料についてそこまで行くかどうかについては慎重に判断しなければならないと思います。なぜなら、財政的な大きな問題はたくさんありますが、職員は大変努力しています、今。一生懸命仕事しています。合併していろんな仕事も増えましたし、新市の一体感の醸成とかいろんな苦勞が今あります。皆さん方からの大切な税金で給料をいただいておりますから、私は当然だとは思いますが、それと同時に、やはりやりがいとか頑張る力を持つにはある程度の報酬は払ってあげなければならない。その1%か2%、3%かのカットによって意欲を失われるとかえってその必要はないかなというふうなことも考えます。ただ、ご意見もよくわかりますので、各市町の状況なども見ながら今後考えていきたいというふうに思います。

#### 【事務局】

ほかにどなたかおいでになりませんか。

#### 【Iさん】

大布施地区のIです。私から2点ほど要望したいと思います。

まず、1点目は、防災という観点からアクセスを良くして欲しいということでもあります。先ほども、今も市長が消防署を建てかえたいということもおっしゃいましたし、その前に道路ということもおっしゃいました。もし何かあったら、一番困るのは、救急車が遅い、そして病院に行くのが遅いということになるかというふうに思います。そういう観点で、もし消防署の建替えて違う場所に行くのであれば、アクセスのいい場所に建てていただきたいなというふうに思いますし、また、そこから真っすぐ延びるといいですか、全市にスムーズに行けるような道路もつくっていただきたいなというふうに思います。

今、新幹線の駅にアクセスをよくするというで議論がずっとされていますけれども、私も三日市に母親が1人でいます。なるべく1分1秒でも、もし万が一があれば、119番をかけて市民病院に行けるといようなことにしていけばいいなというふうに思っておりますので、是非よろしくお願ひしたいというふうに思います。

それから、もう1点の要望であります。

これは新幹線という観点からですけれども、新幹線の名前についてです。これは市長に一度お話をしたと思うんですけれども、それで、市長じゃなくてここにおられる皆さんにお願ひをしたいなというふうに思います。

今、新幹線の駅の名前でいろいろ議論されております。しかし、新幹線の名前について皆さん考えたことはあるでしょうか。私の甥っ子、鉄道が大好きです。いろんな電車の名前を知っています。しかし、駅の名前はわかりません。上越新幹線の駅の名前、皆さんご存じでしょうか。電車の名前は知っていますでしょうか。「とき」と「たにがわ」です。どういうふうにその名前がついているのかといいますと、これは市民のアンケートといいますか、市民の候補でまず順位が確定します。それで、最終的に1位の名前がつくんじゃなくて、最終的にJRが名前をつけます。しかし、その名前をつける案でも、やはり市民の声といいますか、周りの声がやはり非常に重要になってきます。

「とき」という名前は終点の新潟の鳥になります。「たにがわ」というのは谷川岳の名前です。そういうことを考えると、多分、北陸新幹線も特急と特急じゃない各駅になる名前の2つの新幹線ができるというふうに思います。終点はどこになるかわかりませんが、何かこのままでいくと石川県に変わるような気がしてなりません。じゃ、もう1つ各駅、黒部駅にとまる、仮称黒部駅ということですが、その間にとまる電車、どういう名前なのかといいますと、これもまだ議論されていませんので、そういった名前をぜひ黒部のゆかりのある名前にしていただきたいなと。

そこで、皆さんにもそういう議論をしていただいて、ぜひ黒部のということで、もしこういうアンケートといいますか、こういう投票がありますと、そういうので投票を大いにしていくように皆さんで盛り上げていただきたいなというふうに考えております。私は、黒部駅よりも新幹線の「くろべ」と言ったほうがいいのではないかな、それはどうかわかりませんが、もし新幹線が「くろべ」という電車になれば別に、新川駅でも別に何の駅でも私は構わないというふうに思っております。

そういった意味で、ぜひよろしく願いいたします。

以上です。

#### 【市長】

ありがとうございました。大変すばらしい意見をいただきました。

まず、消防庁舎の場所、位置のことについては、当然アクセスのいいところを選ぶべきだというふうに思います。今の消防庁舎、黒部消防庁舎の位置で建て替えるということは考えておりません。あそこの機能を最後まで生かしながら、新たなところに求めるべきだというふうに思っておりますし、実は8号線沿いに魚津断層があるということがわかってまいりました。過去には知らなかったわけですが、最近そういうこともはっきりしてまいりましたので、断層の上に建てることは難しいだろうと思いますので、あと、先ほど言いました6分消防・5分救急という中で、どこがいいのか、そして、道路のアクセスのいいところを選んでいきたいというふうに思いますので、実は市庁舎の位置もそうですが、消防庁舎の位置を決めるのも大変重要なことだというふうに思っております。このことについては、検討委員会の中で今後また研究議論して決めていきたいと思っております。

次に、北陸新幹線の駅名について今までいろんな方から意見をいただきましたが、新幹線の車両に名前をつけるというのは私は初めてであります。おっしゃるとおりだと思います。最終的にはJRが決定するわけですが、駅名もそうですが、地域の皆さんの意見がやはり大きく影響します。それを受けて最終的にはJRが判断することですが、やはり地域の皆さんで、特に黒部市の皆さんがどういう駅名あるいは車両名を考えるのかということについては大変重要。そこで市が中心になってこの駅名をまとめるということですが、近隣の市町に対する影響あるいは近隣の県に対する影響等もあり、なかなか市が中心になって車両名とか駅名をまとめたということになると、お互いに近所づき合いがしづらくなりますので、それは正直言って難しいと思います。ただ、観光協会とか商工会議所、商工会、あるいはいろんな地

区の皆さん方が工夫して意見をまとめて、その意見をJRに向かって言われることについては、私は大変重要だというふうに思いますので、そういう市民の意見をまとめる、そういう努力をぜひしていただければと思います。影ながら応援します。

#### 【事務局】

それでは、時間も押していますので、最後ということで、先ほど後ろのほうでお手をお挙げになった方がおられます。よろしくをお願いします。

#### 【Jさん】

石田地区のJといいます。

市長さん、こんばんは。今日は、子育て・教育環境の充実について1つお伺いしたいと思います。

市長さんは、先ほどその中ですばらしい子供たちというのを言われたと思います。ということは、市長さんも子供というのは大好きでかわいいんだなと、黒部市の子供たちはかわいいんだなということを思っています。ただ、今、そのすばらしい子供たちが通う教育の場が切り捨てられようとしています。というのは、この黒部市にある白鷹幼稚園、生地幼稚園がもしかしたら、もうほとんどどうかな、なくなるんじゃないかと、そういう話が決まっているところです。私は白鷹幼稚園の保護者であります。先ほど冒頭の部分で、市民サービス低下のないよう、新しい黒部市が誕生して市民サービス低下のないようにということをして市長さんはおっしゃいましたけど、教育の場、このすばらしい子供たちが通うところをなくそうとしている、これは低下じゃないかな。

もう1つは、目標が3つありました。「支え合い、心豊かに安心して暮らせるまち」、安心か、私はこの話、もしかしたらなくすかなということで話を聞いたのは9月です。その日以来、私はもう安心して暮らせてません。何かドキドキする感じです。先月11月20日に、やはり来年度から統合ですよという話がありました。

もう1つ、先ほど幼・保連携の強化の中で、幼保一元化というのを考えておられると。その中で、施設、今の既存施設を保たせながらという話もありましたが、これも守ってはいないなという部分がありました。ということで、私、今、否定的なことばかり言いましたが、そればかりではないです。私は幼保連携の強化というのは賛成であります。市長さんが言われたこと、私はそのとおりだなというふうに思っています。それで、そのなくそうかなくさんまいかという話を今先ほど言われたこども支援課の方といろいろ話し合ってきました。こちらから、保護者からも、ただなくさないでなくさないでじゃなくて、こういうことをやったら黒部市の幼児教育が充実するんじゃないかなということをいろいろ提案したんですが、なかなか、ただなくそうかなくそうという話で、何も、それもだめ、これもだめということで暗いなという話ばかりでした。

それじゃ、これは何もやってくれないなと思って、今、中央、三日市、白鷹、生地4園合同で延長保育を何とかできんかと。これは保育所のいい部分だと思っています。それを幼稚園の教育の場に取り入れれば、これこそなかなか進まないものが幼保一元化に向けての第一歩になるんじゃないかな。市はなかなか重い腰を上げないので、今、4園合同でそういうのを考えています。これはつまり、平成18年度、国のほうからも認定こども園という制度、これを幼保連携してやったらどうですかという話があったと思います。まだ富山県には1つしかありません。その第一歩にもなるんじゃないかなと。黒部市の幼児教育ってそういうことをやるんだ、何ていいかと、それこそ子供も集まってくるんじゃないかなと。そしたら、先ほど市長さんが心配されていた少子化、その解決にも少なからずつながっていくんじゃないかなという気が

します。

やっぱり夢のある話をしたいなということで今日はこの場に来ました。ただし、その部分も、もし白鷹幼稚園がなくなったら、この4園の保護者のみんなもあぁと思って、この第一歩がまた二歩、三歩下がってしまうんじゃないかなと。ぜひ幼稚園の存続を願いたいなということで今日発言させていただきました。

いろいろ失礼なことを言って申しわけありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【市長】

Jさんには大変貴重な意見をありがとうございます。

今、黒部市には幼稚園が4カ所あります。三日市と中央と生地と白鷹幼稚園です。その中で、今ほどJさんが言われたように、生地と白鷹の幼稚園については非常に悩んでおります。先日までに来年度の入園の募集をしましたら、生地が9名、白鷹が13名でした。私は、1つの基準として、20名以下はなかなか1つの園として、保育所も一緒なんですけど、継続することは難しいと思っております。ただ、いっぺんに人数が少ないから休園ということもそれはできないかなと。その理由は、効果的な集団保育、やはりいろんな子供と接したり、いろんな父兄と接したりすることによって効果的な幼稚園教育というものが成り立つ。保育園も一緒です。もちろん、正直な話、効率もあります。たとえ9人でも当然幼稚園の先生を配置しなければならない、その施設全体を維持しなければならないとしたら、それは効率のことも当然私は考えております。ですから、近くにあります石田保育所は、来年度119人の応募があるのですが、石田保育所が百十数名、白鷹幼稚園が13名、さて、どうしようということ非常に悩んでおります。この結論はまだ出していません。ただ、今月中ぐらいには結論を出さなければ、もし休園するということになると、その応募された13名の子供はどこへ行くか、どうするのかということは当然考えなければならないわけですから、ぎりぎりまで引っ張ることはできません。

そこで、担当のこども支援課が、先ほど言いました幼保一元化も含めて担当しておりますが、それぞれが、ご承知のように、保育所は厚生労働省の管轄、幼稚園は文部科学省でルールが全く違います。それをそれぞれ考えておってもなかなかうまくやれないから、こども支援課で幼稚園も保育所もあわせて一元化の研究をなさいよということで今年度から担当させました。そういう中で、1つの基準は20名だよということも私が指示しました。ですから、応募の状況を見て、これは弱ったと思っております。そこで、私は、急な決定というのは、やはり父兄の皆さんも子供たちも困るだろうと。しかも、1年後、2年後、幼稚園に、今現在、保育されている子供もいますから、突然2年間白鷹幼稚園にいた子に、三日市や中央幼稚園に行きなさいということもなかなか難しいだろうと。そこで、幼保一元化というのは、先ほども言いましたように、厚生労働省と文部科学省の違いがあって大変難しい、認定こども園というルールはできましたが、公立でやるということはなかなか難しいところがいっぱいあります。それでも今、ここ数日の話ではありますが、何とか白鷹と生地については幼保一元化ができないか、もう一度検討するように指示しました。おそらく幼保一元化、許可をもらうのにも最低3カ月ぐらいかかるということでもありますし、また、施設の改善、同じ保育室に入れておくことはできない。そして、いろんな管理、帳簿の管理も別々にしなければならない。そして、幼稚園の授業料と保育料というものは全く制度が違います。所得に応じて保育所はその保育料が決まりますが、幼稚園は一律です。そういうようないろんな違いを乗り越えて一緒にするというについては大変難しいところがありますが、何とかそこを工夫して、一元化、4月からはもしかすると試行で始まるかもしれませんが、要は許可の問題もありますので、現在、県に相談しております。何とか、公立で初めて一元化ができないかということについて研究、検討しておりますので、Jさん

の言われることももっともであります。

ただ、Jさんにお話ししたいのは、一番最初に言ったとおり、黒部市には残念ながら幼稚園というものは4カ所しかないんです。ある地区はよかったです。幼稚園教育と保育所の保育と選択ができた。ところが、ほかの地区には選択ができないんです、保育所しかないんだから。幼稚園というものはないんです。それは、幼稚園教育を望むのであればどこからでも行けます。ただ、かなり離れたところから幼稚園に通わせるというのはなかなか難しいだろうと思う。だから、私は、ほんとうは全部の地区に幼稚園というのが保育所のようにあるのであればいろんなことも考えられるんですが、残念ながら4カ所しかない。この幼稚園というものをどうするか。幼稚園と保育所、どこが違うかというと、これはいろいろありますが、幼稚園は文部科学省の中で小学校に上がる前の幼児期の教育の場所です。保育所は保育をすると。その辺の意見もあると思いますが、とにかく、今、幼稚園に入っておられる父兄の皆さん、あるいは子供たちに急激な変化を与えて、そして不安にならないように最大限の努力をしたいと思います。大変我々行政としても悩んでいるところでございます。

それと、もう一方では、20人を大きく割って休所になる保育所があります、来年度から。今日もここに関係者が来ておられますが、愛本保育所が実は休所となります。しかも、旧宇奈月地区では、愛本保育所が休所になったら、宇奈月地区には2カ所、浦山と下立しか保育所がなくなるんです。宇奈月保育所も内山保育所も今休所しております。この基準が20人です。そういう関係もあって、やはりあまり地区によって差をつけることは公平の原則からいったらどうかなというようなことも考えています。ぜひいろんな意見もいただきながら、いい方法を考えていきたいというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

#### 【事務局】

どうもありがとうございました。

予定してありました時間も若干経過しておりますので、本日、いろんなご意見をいただきましたが、予定の時刻にもなりましたので、以上で本日のタウンミーティングを閉じさせていただきたいと思います。

それでは、閉会に当たり、堀内市長から本日お集まりいただきました皆様へのお礼も含めましてごあいさつ申し上げます。

#### 【市長】

大変お疲れのところ、長時間にわたってほんとうに熱心に参加をいただきまして、心から感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

先ほど来、いろんなご意見、お話があるわけですが、行政サービスというものは大変増えております。いろんな原因があります。核家族化が進んで、やはり家庭の中で、例えば子供をじかに育てたりすることが難しくなる、あるいは地域において解決することが難しくなる。そういういろんな問題について行政として、行政サービスとして実現しなければならないわけですが、そういう行政サービスニーズが非常に増えてきた。そういう中で、当然行政は目いっぱいのことをやらなければならない。それと同時に、いろんなボランティアの皆さんの協力をいただいて、企業の皆さんであったり、町内会の皆さんと連携をとってやらなければ、やはり全体とすればいいまちにならないと思います。ぜひそういうこと、市民参画、協働によるまちづくり、協働の役割分担、お互いの責任というものをもう一度考えていただきたいというふうに思います。そこがうまく連携がとれば、黒部市はほんとうに可能性のある夢のあるまちだというふうに思いますので、ほんとうにいいまちになっていけるのではないかと思います。

それと、もう1つは、先ほどから庁舎の問題など大変熱心なご意見をいただいておりますが、やはりまとめるということが大事です。そのためには、最近どうしても全体を見る力が弱まっているのではないかと思います。どうしても自分たちの足元地元が優先になります。それは当然であります。でも、大きな課題については、黒部市全員の課題については市民の同意をいただくということが大変重要であります。ですから、大きな視点に立つ、全体を見据えて、どうあるべきかというようなことをぜひ考えていただきたい。昔はもっとお互いに近所同士助け合って生きてきた中で、そういう力というものはもっとあったのではないかと思います。どんどん個人主義が進んでいく中で、そういう全体を見る力が少し弱まってきたのではないかなというようなことも心配します。これから大変重要な時期を迎えます。総合振興計画の中で重点課題をたくさん計画しました。それらをそれぞれ実現するには意見をまとめるということが重要でありますし、また、10年間の中でうまく平準化して整理をしなければ実現することはできません。すぐに前期でやれと言われても、財政的な問題、あるいは皆さん方が非常に気になっておられる負債残高、借金の残高の問題、私は、今のいろんな重点課題をうまく調整すれば、10年間を平準化する中で整理すれば、今、一般会計で234億円あります借金、起債残高を平成29年、10年後には220億円、あまり減りませんが、幾らか減らせる中で今の課題を実現できるというふうに考えておりますし、また、財政でもこのような試算を行っております。また、実質公債費比率についても心配していただいておりますが、22.2%、それも平成29年までには18%にするという見直し改善をしながらも、今ほど言いましたいろんな課題をうまく意見をまとめて調整すれば必ず実現できます。そういう可能性をご理解いただいて、ぜひ意見をまとめていただき、そして、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

ほんとうに今日はお疲れのところありがとうございました。これからもこういう席にぜひ多くの皆さんに参加をいただきますようお願い申し上げます。閉会のごあいさつにいたします。ありがとうございました。

#### 【事務局】

長時間、皆様方にはほんとうにありがとうございました。お忘れ物のないようにご確認ください。また、黄色いアンケートは、ご記入の上、出口の回収箱、係員にお渡しください。

どうもありがとうございました。お気をつけてお帰りくださいませ。

了